

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32023	X-21-B-2-320236	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年	
中国語 4bA	朱 継征			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			

授業目的

この授業は中国語の人文・社会科学分野の文献、新聞記事やテレビニュースなどを理解することを主な内容とし、一層高いレベルの語学力を身に付けさせる。この中で、中国語の聴解力、会話力、読解力、作文力などの総合的運用能力を高め、中国語検定試験4～3級合格、HSK(漢語水平考試)3～5級合格を目指す。授業には、中国語と日本語の異同についての説明及び通訳・翻訳の訓練においても、日本語の使用を最小限にするが、単語、本文と文法の説明及び討論会、発表会と授業での指示を基本的に中国語で行う。映画による理解力向上の方法も導入する。

各回毎の授業内容

第1回 【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、事後は、よく復習して聞く、話す、読む、書くなどの面で練習する。約2時間必要。 第2回 【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第3回 【授】社会問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第4回 【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第5回 【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第6回 【授】経済問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第7回 【授】経済分野の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第8回 【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。	第9回 【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第10回 【授】国際関係について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第11回 【授】国際関係の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第12回 【授】社会・経済・国際の問題についての中国語発表会 【前・後】事前は、各自分担の主題について発表内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第13回 【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第14回 【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。 第15回 【授】中国語検定試験あるいはHSKの指導と模擬試験を行う。 【前・後】事前は、中検あるいはHSKの資料を収集する。事後は、各自の経験をよく総括する。約2時間必要。 第16回 【授】定期試験 【前・後】事前は総合復習をする。約2時間必要。
---	--

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

成績判定は主に定期試験の結果に基づくが、授業での活躍と出席状況も成績判定の重要な根拠になる。定期試験の成果や問題点を総括して後に説明する。

教科書参考書

中国の大学で使用される教科書、新聞記事などを導入する。
各種の中国語辞書を活用する。

受講に当たっての留意事項

辞書を持参すること、予習・復習をすること。
聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力する。日本語の使用を最小限にする。

学習到達目標

新聞記事やテレビニュースなどを徐々に理解するようになり、それをめぐって意見交換をするように挑戦する。実践訓練の中で、中国語検定試験4～3級やHSK3～5級の合格を目指す。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32023	X-21-B-2-320236	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年	
中国語 4bB	姜 杰裕			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

前年度に学習した内容を基礎にして、語彙の範囲をより広げ、量を増やし、場面応用の会話能力を高める。基礎文法をしっかりと身に付け、日常生活で自分の言いたいことを文章に表現できるように中国語運用能力を高める。

各回毎の授業内容

<p>第1回 【授】「网上聊天①」 疑問視+都+也 順番の表現 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に本文の音読をくる返し、日本語訳を試みる。ドリルをしておく。予習復習五時間。</p> <p>第2回 【授】「网上聊天②」 応用 【前・後】事前に本文を日本語訳しておく。ドリルをして会話の時に自分の言いたいことを準備しておく。事後に本文の内容を流暢に復唱出来るようにする。予習復習五時間。</p> <p>第3回 【授】「买东西①」 「会・才」、「越来越」 【前・後】事前に単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に学習した文法を復習、短文を作ってみる。ドリルをしておく。予習復習四時間。</p> <p>第4回 【授】「买东西②」 応用 【前・後】事前に本文を熟読し、日本語訳しておく。事後に習った内容を応用できるように暗誦しておく。予習復習五時間</p> <p>第5回 【授】中国語の検定試験対策① 【前・後】事前に配られたプリントをしっかりとやっておく。問題点を探し出す。事後に必要な単語、文法をまとめる。予習復習五時間。</p> <p>第6回 【授】中国語の検定試験対策② 【前・後】事前に配られたプリントをやっておく。問題点をまとめ、対策を考えておく。事後に全体に復習する。事前事後学習五時間。</p> <p>第7回 【授】『爱好』 (为了 ~)、(帮 ~)、(只要~) 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後にドリルをして、本文を熟読した上で日本語訳しておく。予習復習四時間</p> <p>第8回 【授】『坐火车』 (敢・怕・差点儿)、(就要~了) 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に習った文法を短文作りして、自分の言いたいことを表現する。ドリルをし、本文を熟読、日本語訳にする。予習復習四時間</p>	<p>第9回 【授】作文— 自分の趣味について話し合い、作文する。 【前・後】事前に今まで習った中国語の単語や文法を復習して、話の内容を考えておく。事後に自分の趣味を流暢に人に紹介出来るように暗記しておく。事前事後学習五時間。</p> <p>第10回 【授】『观光①』 多~啊、不管~都、離合詞、前置詞の「往」 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に習った文法をしっかりと復習、ドリルをやる。本文を熟読し、日本語訳にしておく。予習復習五時間。</p> <p>第11回 【授】『观光②』 質疑応答、会話練習、映像で中国の観光 【前・後】事前に単語を復習、「観光」用語を予習しておく。事後に聞き取れなかった部分をしっかりと復習する。予習復習五時間。</p> <p>第12回 【授】『送行①』 又、以为、本来、不仅~而且 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に文法復習、ドリルをする。本文を音読し、日本語に訳す。予習復習四時間</p> <p>第13回 【授】『送行②』 質疑応答、会話練習 【前・後】事前に本文を熟読し、ドリルをやっておく。疑問点をまとめる。事後に習った常用用語を流暢に言えるようにする。予習復習五時間。</p> <p>第14回 【授】作文練習—手紙の書き方 【前・後】事前に手紙の内容を考え、必要な単語を調べ、準備しておく。事後に中国の手紙の形式を覚え、今後応用出来るように書く練習する。学習時間五時間。</p> <p>第15回 【授】総復習、質疑応答 【前・後】今日まで習った内容を復習し、疑問点をまとめる。事後に解決された疑問点をしっかりと復習、期末テストに備える。予習復習六時間。</p> <p>第16回 【授】テスト 【前・後】テスト終了後、回答を説明する。</p>
---	---

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							40
小テスト・授業内レポート							15
宿題・授業外レポート							15
授業態度・授業への参加							15
成果発表(口頭・実技)							15
演習 その他							

予習復習をしっかりとやる。毎日中国語を音読するのを習慣化する。毎回会話練習を実施する。日常生活の中で意識的に中国語を使ってみる。小テストはその場で答え合わせを行い、問題点を解決する。レポートは添削してから返し、質疑応答を行う。内容により口頭発表を実施する場合もある。

教科書参考書

スリム版 初級から中級へ 「表現する中国語Ⅱ」 楊凱榮・張麗群 著 2400円+税

受講に当たっての留意事項

日中辞書を持参する。成績は出席率、授業態度、テスト等により総合的に評価する。 ※事情により授業が予定変更する場合もある。

学習到達目標

簡単な電話対応や道案内、買い物、料理の注文など日常生活に欠かせない会話が自然にできるようにコミュニケーション能力を身に付ける。そして自分の考えを文章にまとめられるような作文能力を鍛える。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習